



都市農業の振興を目指す—埼玉の農園を視察

矢倉かつお参議院議員(前農林水産大臣政務官)は、谷合正明農林水産副大臣(参議院議員)とともに11月14日、都市農業の振興策を探るため、埼玉県新座市を視察しました。

新座市で谷合副大臣と矢倉議員は、トマトの水耕栽培などを行う石井農園を訪れ、園主・石井幸男さんから、「近くの直売所で新鮮な野菜を販売し、地域の住民に喜ばれている」との話を聞きました。



この後、新座市役所で並木傑市長と懇談。並木市長は、保水機能など都市農地が持つ多面的機能を強調。「田畑から宅地化されてしまった場所が増えた結果、豪雨時には浸水被害が拡大するようになった」との懸念が表明されました。

「都市農業」は、公明党の取り組みによりようやくその意義が見直され、都市における農地は「宅地化すべきもの」から「あるべきもの」に位置付けを変えました。矢倉かつお議員も政務官時代から三大都市圏内における、いわゆる生産緑地を貸した場合でも引き続き、相続税の猶予が受けられるための制度づくりに関わってきました。

矢倉議員は、あらためて市長はじめ多くの方からご要望を受け、年末の与党の税制協議に反映されるよう力を尽くすと決意を述べました。

経済産業部会長代理として、党の税制調査会で意見表明

11月28日の党税制調査会(税調)で矢倉かつお議員は、特に**事業承継税制**の拡充を訴えました。今後10年の間に、70歳を超える経営者は245万人にも達しますが、相続税の負担などで、なかなか事業承継が進みません。このままでは、たとえ事業が黒字であっても廃業が増え、この10年間で中小企業が支えている650万人の雇用、22兆円分の国内総生産が失われます。また、中小企業における「生産性革命」を実現し、働きやすい環境をつくるために、設備投資を後押しする税制も強く訴えました。さらに中小企業の納税事務負担に配慮し、償却資産税の申告期限につき、所得税や法人税の申告期限とあわせることを選択できるようにすべきと主張しました。実現に向けて尽力してまいります。

翌29日は矢倉議員は改めて**事業承継税制**の問題に言及。相続税猶予の要件拡充で利用への間口をひろげるだけでなく、将来、事業の一部を売却した際に、さかのぼって株式の売却価格をはるかに上回る相続税と利子税を課税されるといったことのないようにすべきと訴え、財務省からは、税額評価のあり方含め検討するとの回答を引き出しました。



党国対筆頭副委員長、議院運営委員会理事に就任

矢倉かつお議員は、8月に党の国会対策筆頭副委員長に就任し、9月28日に召集された第194臨時国会において、参議院議院運営委員会の理事に就任しました。

議院運営委員会(通称:議運)は、国会法に定められた常任委員会の一つで、本会議の開会、法案審議の順番並びに参議院職員および参議院法制局の人事、国会図書館職員の人事の承認など幅広い権限を有しており、総理官邸や各府省庁からみても、参議院のキーマンの一人です。(写真:挨拶に来た安倍総理とガッチリ握手)



自由で公正な貿易ルール構築とともに国内農業の保護を

党 TPP 総合対策本部(本部長=石田祝稔政務調査会長、事務局長=矢倉かつお参議院議員)と日 EU・EPA 対策本部(本部長=稲津久衆院議員)は11月2日、衆議院第2議員会館で合同会議を開き、環太平洋連携協定(TPP)の交渉状況と、日本と欧州連合(EU)による経済連携協定(EPA)に関する国内対策について政府から報告を受けました。

矢倉議員は TPP 総合対策本部事務局長として、国内農業を中心とした支援策に対する党の意見を最終的にとりまとめました。自由貿易体制をすすめるための前提条件は、自由貿易により不利益をうける分野、とくに国内農業に対する支援です。それなくして自由貿易体制に対する国民理解はありません。そのうえで、アメリカが TPP を離脱している今だからこそ、日本を軸に、アジア、太平洋地域において経済圏をつくらなければならない。アメリカか中国か、という構図ではなく、日本が関係国と連携し、自由で公正なルールを主導し、すぐれた力をもつ日本の企業が持てる力をさらに発揮できるよう、経済連携の網をさらに重ねていく必要があると矢倉議員は考えています。



食品流通改革について農林水産大臣に申し入れ

矢倉かつお議員は農林水産副部長として11月24日、卸売市場を含む食品流通改革について、齋藤健農林水産大臣に申し入れをしました。特に、「第三者販売の原則禁止」や「直荷引きの原則禁止」について、各市場をまわり得た卸業者や仲卸業者などから声を届けました。

矢倉議員は卸売市場の実情をみていくなかで、地域ごとの実情が違うということを実感しており、一律にならず、しかし、柔軟な対応が必要と考えています。多くのプレーヤーが一同に集まる市場の機能は、他品種かつ質の良い品が少量であっても全国各地から集まる日本において、とりわけ、需要と供給のマッチングのためにも重要です。またコストの最終的な削減にも役割を持ちます。そのうえで、最近では市場外での取引が相当増えており、市場に物が戻るようになるためにも、時代に合った改革は必要です。特に、中央卸売市場が地域のハブ市場として力を発揮できるよう、今後、あるべき規制のあり方とともに、具体的な振興策をはかる必要があります。



前農林水産大臣政務官として、吉川市で農政懇談会を開催

矢倉かつお議員は11月17日、吉川市での農政懇談会に出席しました。この会は吉川市の互金次郎、五十嵐恵千子、小野潔の各市議にご尽力をいただき、開催の運びとなったものです。出席者は、土地改良区や自治会の役員など地元の有力者の方々ばかり40名以上で、ほぼ全て公明党员以外の方々でした。



懇談会では収入保険のほか、後継者不足をどうするかなど、じっくり議論することができました。2時間弱の会合でしたが、参加した方々から終了後に、「もっと長くやってくれ」とおっしゃっていただけるほど充実したものとなりました。

農地集積や農業振興地域からの除外など様々な課題について、地域ならではの意見を様々伺い、今後の農業政策の参考になりました。矢倉議員からは、集積に関するいわゆる埼玉方式を参考にした意見や、地域の声をより反映した農振除外や農地転用などについて率直に考えを述べました。後継者育成のため大事な問題であり、引き続きこのような場を設けて議論を進めたいと矢倉議員は考えています。



矢倉議員が団体の要望を受ける—さいたま市議団と

公明党さいたま市議団(上三信彰団長)はこのほど、市内で各種団体との意見交換会を開催し、計14団体から要望を受けました。これには矢倉かつお議員も参加しました。

さいたま市私立保育園協会の剣持浩会長は、潜在的な“隠れ待機児童”や保育士の人手不足、公私間の給与格差などの問題を提起。保育の質向上や人手不足の解消に向け、「保育士確保や認可保育園増設に力を入れてほしい」と要望しました。

また、市造園業協会の内田香会長は、造園業者の育成や経営基盤強化への支援を求めました。

これらの要望に対し、矢倉議員は、「皆さんの現場の声、率直な声をしっかり受け止め、国と県、市で連携しながら取り組んでいく」と語りました。



荒川流域の治水対策を万全に一荒川第一調節池などを視察



矢倉かつお議員は8月29日、太田昭宏全国議員団会議議長、竹谷とし子参議院議員、薄井浩一、慶野信一両都議らとともに、近年、各地で大雨による河川の氾濫が頻発していることを踏まえ、埼玉県と東京都を流れる荒川の治水対策を調査しました。

一行は、荒川中流域にある「荒川第一調節池」(さいたま市、埼玉県戸田市)で、国土交通省の担当者から、洪水時の水量調節などについて説明を受けました。担当者は、荒川の治水対策を進めるため

には、調節池をさらに整備する必要性があり、関係自治体との連携強化が課題になっていることを強調しました。その後、太田議長らは、災害対策支援船「あらかわ号」に乗り、水上から護岸や水門の耐震化を視察。下流域の治水対策に関して、東京都足立区新田で整備されている高規格堤防(スーパー堤防)の進捗状況を見て回りました。

視察後、太田議長は「荒川流域には多くの人口や都市機能が集中しており、大規模水害への備えを万全にする必要がある。これからも、命を守る防災・減災対策に全力で取り組んでいきたい」と語りました。



朝の駅頭活動を行っています！！

矢倉かつお議員は11月20日、さいたま市緑区選出の神坂たつあき市議とともに、浦和駅東口で朝の街頭挨拶を行いました。演説では国会の状況や、与党のなかでの公明党の役割などを訴えました。ご近所の方々をはじめ多くの方々からお声掛けをいただきました。また翌週の27日には北浦和駅にて、谷中さいたま市議とともに行いました。

月曜以外はほぼ毎日、朝8時から国会で会議があるため、とりわけ会期中は限られた日になってしまいますが、埼玉県内のあちこちで朝の時間をいただき、引き続き、国政報告など行ってまいります。

県内各地の支部党員会などに参加しています！

矢倉かつお議員は衆院選後、各地の党員会に参加させていただき、総選挙の総括を行っています。これまで、戸田、さいたま市見沼区、川越、毛呂山(鳩山、毛呂山、越生)、さいたま市北区、南区、草加、鴻巣の支部会に出席しました。時間の許す限り、質問会や会合終了後の少



人数での意見交換も行いたいと思います。矢倉議員からは、メディア対策の必要性、そして、自公という枠のなかで公明党が埋没しないよう「公明党らしさ」をもっと発揮する必要性があることなどを決意を込めて訴えています。

党員会では多くの方から「次に向けて頑張ろう！」と温かい励ましをいただきました不祥事を出してしまった油断を徹底的に廃し、期待に応えるようがんばります！！



台風21号被害の救済募金を実施しました！

矢倉かつお議員は11月5日、西田まこと参議院議員、福永のぶゆき県議、近藤よしひろ川越市議らとともに東武東上線新河岸駅前で、「川越市被災者救援の会」による台風21号の被害に遭われた方々に対する真心の募金の呼びかけをしました。寺尾地区だけで床上床下浸水あわせて444軒、大変な被害でした。集まった義援金は、川越市にお届けしました。



矢倉かつお公式ホームページ
<http://www.yakura-katsuo.jp/>



矢倉かつお

検索



〒100-8962 参議院議員 矢倉克夫事務所
東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 401 号室

メルマガの
登録はこちらへ

